

早期発見のための児童虐待チェックリスト

学校全体で日常的・定期的にチェック項目に沿って児童生徒の状況把握を行い、児童虐待の早期発見に努めてください。

なお、過去に虐待歴のある児童生徒については、より丁寧な状況の把握に努めてください。

チェック項目	チェック
児童生徒に不自然な外傷がある。もしくは疑われる。(内出血, あざ, 火傷, 骨折等)	
児童生徒が家庭でのけがで保健室に行く。けがの原因の説明があいまいである。	
児童生徒が健康診断, 身体検査を受けたがらない。又は当日欠席する。	
児童生徒が保護者を怖がる。保護者がいなくなると急に安心した表情になる。	
児童生徒が他人との身体接触を異常に嫌がったり怖がったりする。又は極端に身体接触を求める。	
児童生徒が年齢にそぐわない性的発言をする。極端な性的関心又は嫌悪を示す。	
児童生徒が、性的虐待を他人の話として話す。絵画や作文などに性的関係を暗示させるようなものがある。	
児童生徒の衣服が季節に適していない。又は汚れがひどく着替えたがらない。異臭がする。	
児童生徒の体や頭髮が汚れている。(入浴をしていないことが考えられる。)	
児童生徒の無断欠席, 遅刻が多く理由がはっきりしない。不登校又は不登校傾向である。	
児童生徒が空腹を訴える。又は、異常な食欲がある。極端な体重減少がある。	
児童生徒に摂食障害(拒食, 過食等)が見られる。	
児童生徒にリストカットなどの自傷行為が見られる。	
児童生徒に無表情・凍りついた凝視・緊張が高いなどの様子が見られる。	
児童生徒の表情がいつも暗い又は乏しい。無口である。無気力。	
児童生徒が頭痛や腹痛, 倦怠感などを不定期に繰り返す。	
児童生徒に不自然な言動が見られる。感情が不安定で、友だちとのトラブルが多い。	
児童生徒が暗いところを怖がる。	
児童生徒に便や尿の失敗が頻繁にある。	
児童生徒が家に帰りたがらない。家庭の話をしたがらない。	
児童生徒が教職員に対して反抗的な態度をとる。又は異常なほどに甘える。	
児童生徒が他人へのいじめや生き物等への残虐な行為を行う。	
保護者が頻繁に児童生徒を叱る・罵る。子どもへの接し方が不自然である。	
保護者の感情の起伏が激しく、余裕がないように見える。つじつまの合わない説明をする。	
保護者に家庭訪問, 個人懇談等のキャンセルが多く、行事等に参加しない。連絡も取りにくい。	
保護者が児童生徒の養育に無関心である。	
保護者にアルコール・薬物依存がある。	
家庭訪問をすると、家の中が極端に散らかっており、不衛生である。	